



鳥見神社

剣持さんのおススメ

金山は拍でも典型的な里山で、見どころは6月から咲く北谷津のキツリフネ、秋に咲く台畑のキバナアキギリと、春の鳥見神社の三つです。春、東南アジアから渡り鳥のサシバが、金山を目指してやってきます。金山の希少生物は60種以上も残されています。大空に舞うサシバを探しに訪れませんか。



サシバ

ゴミグモをさがせ！

ゴミグモは自分の巣にゴミをつけて、自分の姿を隠している。普段はゴミになりきっていて、さわっても動かないほどの徹底ぶり！
右の写真からゴミグモをさがせ！



ゴミグモ



サツマノミダマン



キツリフネ



キバナアキギリ



大根切・原ノ下



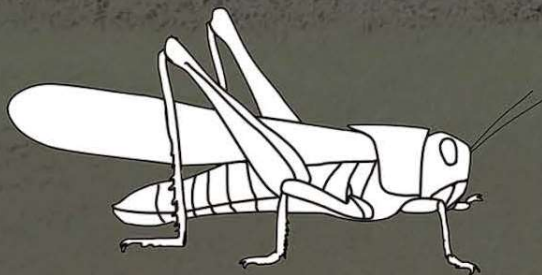
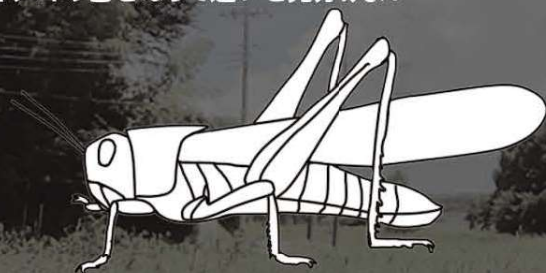
エサキモンキツノカメムシ

ぬいえに挑戦！

トノサマバッタとツチイナゴの色をぬって違いを見分けよ！



トノサマバッタ



ツチイナゴ

染谷さんのおススメ

大根切・原ノ下の樹林はとても深いです。その深い樹林の中では、希少種のタシロランや可愛いツチグリというキノコ、きれいな赤のカラスウリなどが見られます。タシロランはまるで白い妖精のごとく三週間ほどで跡形もなく消えてしまう神秘的な植物です。身近な場所でこのような自然に出会えてよかったと皆さんも思うでしょう。



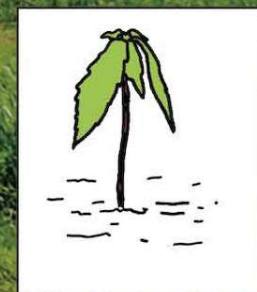
ヒメツチグリ



タシロラン



カラスウリ



中萩谷津

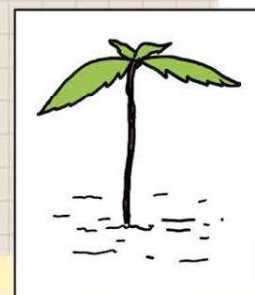


北拍ふるさと公園 (大堀川河口)



佐々木さんが語る、手賀沼西エリアの魅力！

手賀沼西エリアの第一の特色は広大な湿地帯です。手賀沼と大津川があり、その周囲は湿地と田んぼが取り囲んでいます。湖とヨシ原は野鳥を育み、田んぼの周りには珍しい草花が見られます。二番目の特色は豊かな谷津地形です。大小合わせて20近い谷津があり、斜面林が残された場所では美しい花が見られます。三番目の特色は里山風景です。旧沼南町地区は今もなつかしい里山風景を残しています。里山風景を愛でながらの散策、谷津斜面でタニギキョウの可愛い花との出会い、そして、ヒドリ橋でひょっとして珍鳥クイナと遭遇、などなど手賀沼西に来ていただければ楽しみが満載です。



タケさんのおすすめ

手賀沼と大津川に沿って整備された遊歩道を歩いてみませんか。沼と川と田んぼが一望でき、水に恵まれたこの地域の自然を満喫できます。もしお持ちでしたら双眼鏡を用意しましょう。滅多に見られない水鳥に出会う幸運に恵まれます。また、美しい湿生の花が見られるかもしれません。



カップルをつなげ！

ヒドリガモ



コガモ



オナガガモ



マガモ



オオバン



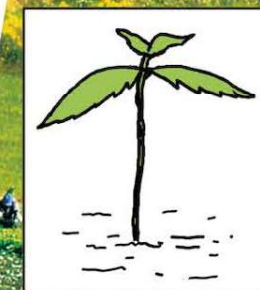
ジョウロウスゲ



タコノアシ



オニグモ



文京区立柏学園

加藤さんのおススメ

柏学園の北向き斜面林は、道から金網越しではありますが、春のイカリソウから始まり、初夏のチダケサシ、夏はヤマユリ・キヌタソウ、秋はツクバトリカブトなどなど、四季折々の山野草が皆さんの目を楽しませてくれるものと思います。散歩の道すがら少し立ち止まり美しく咲き誇る花々を愛でてみてはいかがでしょうか。

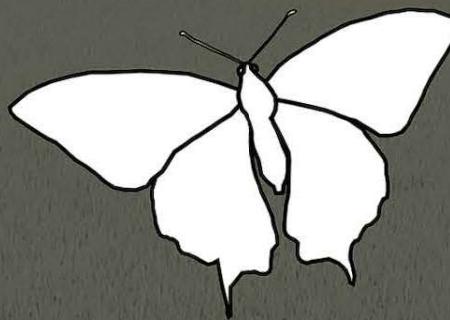
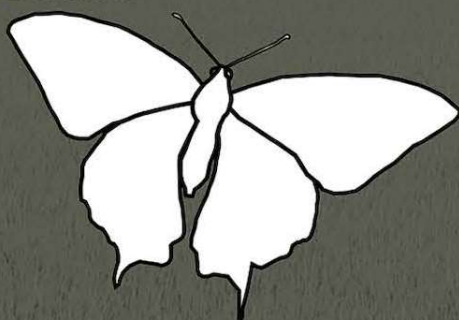


ぬいえに挑戦！

ナミアゲハとキアゲハの色をぬって違いを見分けよ！ 幼虫の模様も違うぞ！

ナミアゲハ

キアゲハ



金網越しに観察！



イカリソウ



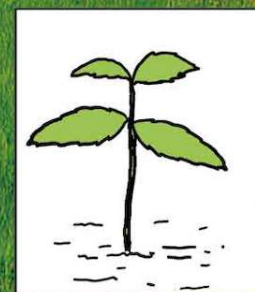
オオアオイトトンボ



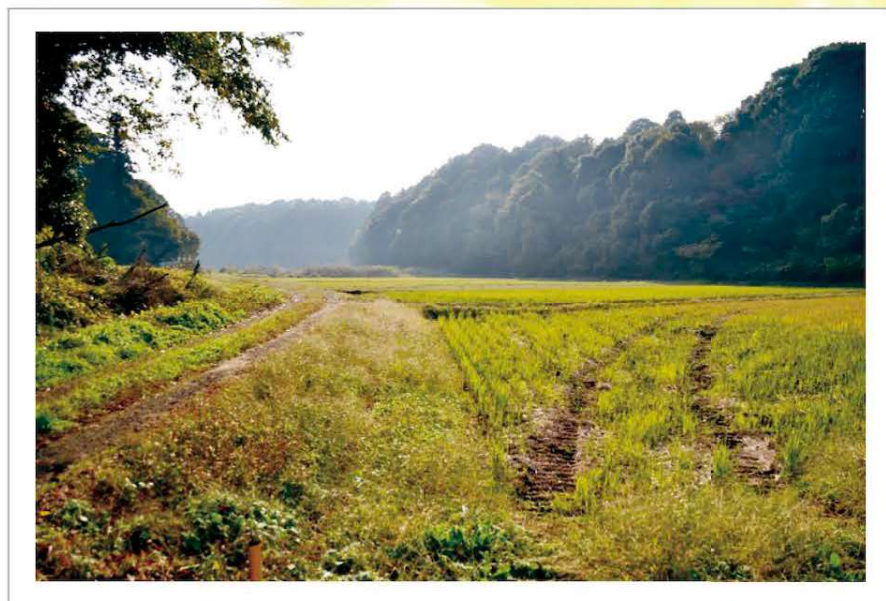
キヌタソウ



ヤマユリ

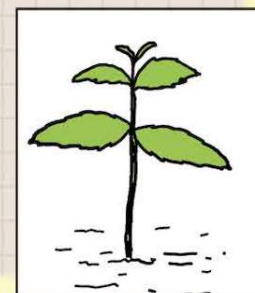


19 手賀沼東エリア



小島さんが語る、手賀沼東エリアの魅力！

手賀沼東グループの調査地域は旧沼南町に含まれ、市内でも人口密度が最も低いエリアです。谷津を中心に自然環境の悪化は残念ながら進んでいますが、市内の他のエリアと比べるとまだまだ自然度が高いエリアです。開花時期になるとキンラン・ギンラン・イチヤクソウが咲き誇り、コクランやキバナアキギリの群落が残っています。動物ではオオタカ・サシバ・フクロウなど里山の生態系の頂点となる猛禽類の生息が確認され、湧水が出る谷津ではサワガニやヘイケボタルが見られる市内でも大変希少なエリアと言えるでしょう。



手賀の丘公園

小野さんのおススメ

オススメは「ウラジロ」の大株です。手賀の丘公園内に見事な大株が知る限り2株生育しています。手賀の丘で初めてウラジロを見たときは、柏で見られるとは思っていませんでしたので驚きでした。春のくるくる新芽、葉を広げ切った夏、次の年の準備を終えた初冬それぞれに見応えがあります。



親子をつなげ！

アオバハゴロモ



ベッコウハゴロモ



ツマグロオオヨコバイ



オカダンゴムシ



ウラジロのくるくる新芽



ルリビタキ



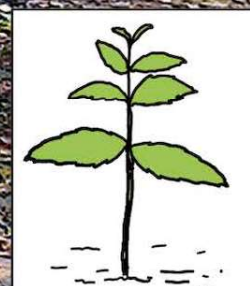
ジョウビタキ



ホトギス



ササバギンラン

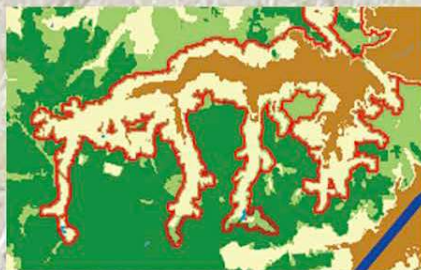




ギンラン

谷津をさがせ！

このページの背景写真のように、周りを丘で囲まれた細長い谷を「谷津」と言うよ。谷津には湧水があり、生きものがたくさん住めるんだ。地形を表した地図だと左下の図の赤線で囲った部分のような細長いギザギザに見えるぞ！



次のページにある柏市の地形図を見て、谷津を探してみよう！キミの住んでいる場所も、昔は谷津だったかもしれないぞ！？

小島さんのおススメ

手賀の丘公園の南西に隣接する場所で、歴史と趣のあるお寺・弘誓院（ぐぜいいん）から中台山を取り巻くように谷津が囲んでいます。春にはキンラン・ギンランが斜面林で開花し、湧水が出る谷津ではサワガニやホタルが、またアオダイショウやヒバカリなど爬虫類の仲間も観察される自然豊かなポイントです。



サワガニ



オニグルミ



キツネノロウソク



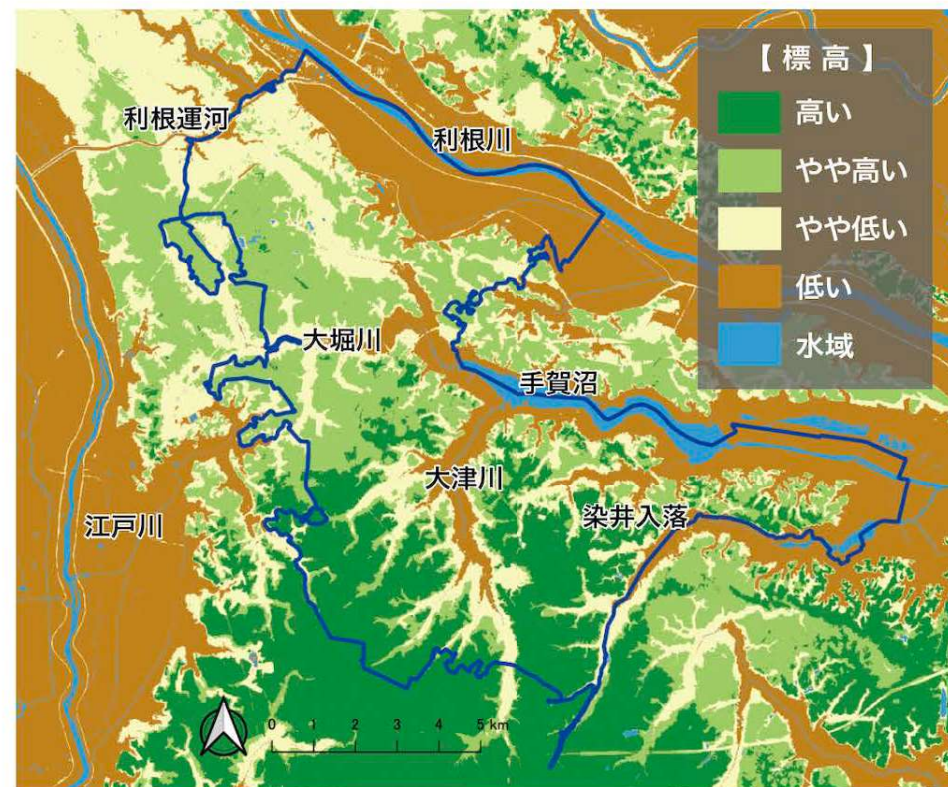
22 柏市の河川・水辺



河川改修前の染井入落

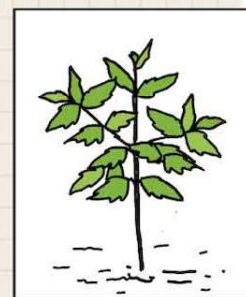


谷津田とニホンアマガエル



川瀬さんが語る、河川・水辺の魅力

皆さんの住んでいる場所はどこですか？そこに降った雨はどこに流れていくのでしょうか？ 柏市のほとんどの場所に降った雨は道路のU字溝、雨水管を経て川に流れ、そして海へと流れていきます。それだけでなく地面にしみ込んだ雨も地下で流れをつくりゆっくり川に流れたり、低い場所から湧き出したりします。柏市はこうした地下水がもともと豊富で以前は市内の井戸水が水道水として多く使われていました。季節によりいろいろな姿を見せる川。皆さんも近くの川で魅力を再発見してみてください！



大津川

河川・水辺の生きもの

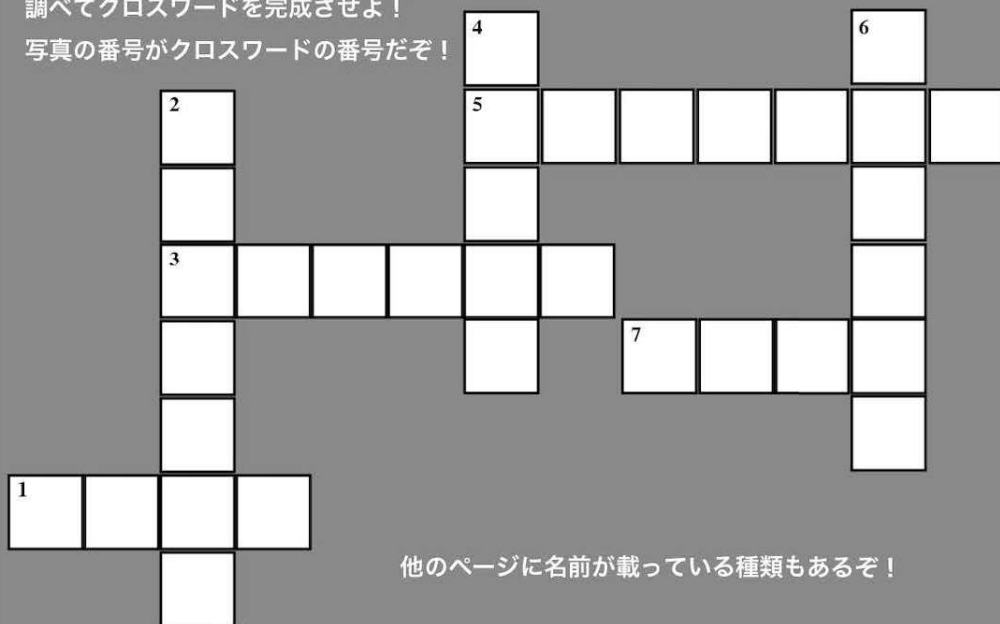


河川改修後の染井入落

クロスワードをとけ！

このページの写真の生きものの名前を
調べてクロスワードを完成させよ！

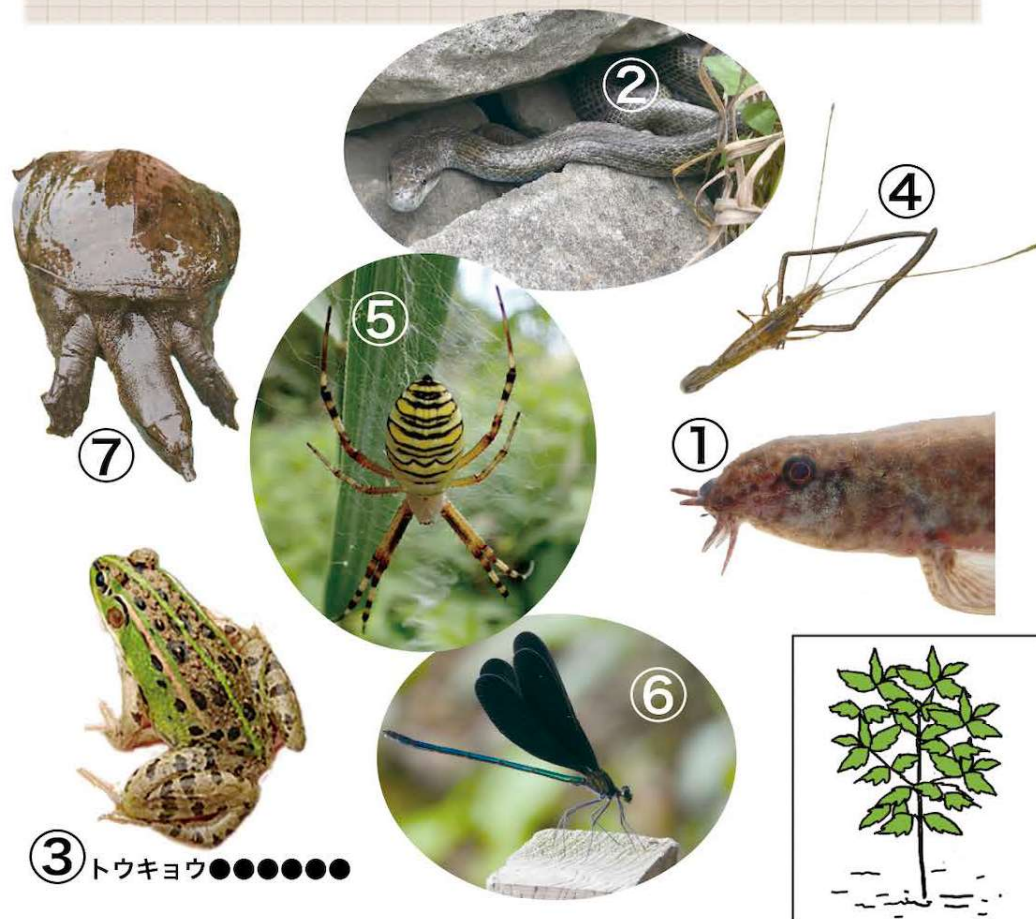
写真の番号がクロスワードの番号だぞ！



他のページに名前が載っている種類もあるぞ！

明子さんのおススメ

染井入落（そめいりおとし）では河川工事後、水の中に生息する生物の数は減ってしまいました。でも、河川周辺には田んぼや林がまだまだたくさん残っていて、猛禽類やヘビ・トンボなど、大きな鳥から小さな虫まで数多く観察できます。生きもの達はしっかり命を繋げています。ぜひ会いに行ってみてください！



③ トウキョウ ●●●●●●●●

谷津田の生きもの



マメシジミ

親子をつなげ！

サワガニ



ギンヤンマ



オニヤンマ



シヨウジヨウテンボ



小川さんのおススメ

観察ポイントのおススメは「湧水口」。湧水は地層の中の砂を巻き上げて出るので、周囲の土と色の違い、砂に触れたときの感触などで出口が分かります。何層もの地層にろ過された不純物の少ない水、地下の温度と同じで一年中水温がほぼ一定なので、ここでしか生息できない生きものの貴重な住処。サワガニやオニヤンマのヤゴをぜひ見つけてくださいね！



イオウイロハシリグモ



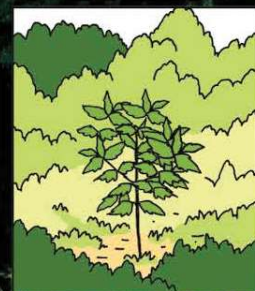
カワゲラの幼虫



ミズムシ



オオヒメゲンゴロウ





●キンラン

春に森の中で咲く絶滅危惧種。暗い森でも地中でこのから栄養をもらって生き延びているぞ。キンランのある自然が豊かな森をさがせ！



●フデリンドウ

森の中で春に小さな青い花を咲かす。曇りや夜になると花を閉じてしまう気分屋さん。天気の良い日に咲いている花をさがせ！

●サクラタデ

夏から秋に桜のようなピンクの花を咲かせる野草。河川敷や田んぼのあぜで多く見られるぞ！草原に住むバッタも一緒にゲットだ！



●ミクリ

栗のようないががした実をつける絶滅危惧種。川や池などの水辺に生えるぞ！ミクリの生えられるきれいな水辺をさがせ！



●コブシ

桜の咲く時期に大きな白い花を咲かせるぞ。お花見がてらコブシの花もさがせ！面白い形をしている実も観察してみよう！



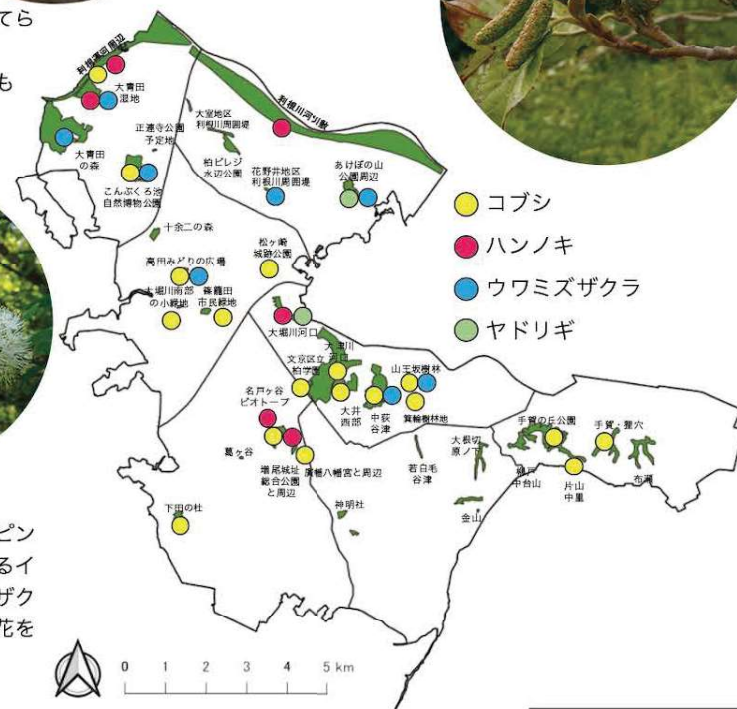
●ウワミズザクラ

サクラと言えぱうすいピンクの大きな花を咲かせるイメージだが、ウワミズザクラは地味だけどシブい花を咲かせるぞ！



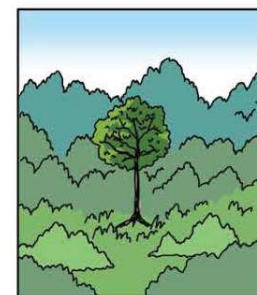
●ハンノキ

湿った地面が得意で河原や湿地に生えているぞ。秋に緑のまま葉っぱを落とすのが特徴。丸くてかわいい実も探してみよう！



●ヤドリギ

木の上に生える木。実は甘くて美味しいけど、ウンチがネバネバになる。鳥のウンチに入ったネバネバのタネが木につくと生えてくるぞ！



28 カエル・ヘビの仲間をさがせ！

●ヤマカガシ

赤と黒のしま模様のヘビ。毒があるので気をつけた方がよいが、攻撃をしなければ噛まれることはない。慎重に探しながら歩け！



●ニホンアカガエル



普段は森の中に住んでいて、春の産卵の時は水辺にやってくる。アカガエルの産卵とオタマジャクシの住める水辺をさがせ！



●ニホントカゲ

石の上で日光浴をしているのが見つけやすい。青い尻尾を持つ子供のトカゲを探せ！尻尾を持つと尻尾をちぎって逃げるぞ。



●トウキョウダルマガエル

1年中水の中にいる。トノサマガエルに似ているけど、関東にいるのはこの種類。ほったたを膨らまして鳴く姿をさがせ！



29 哺乳類をさがせ！

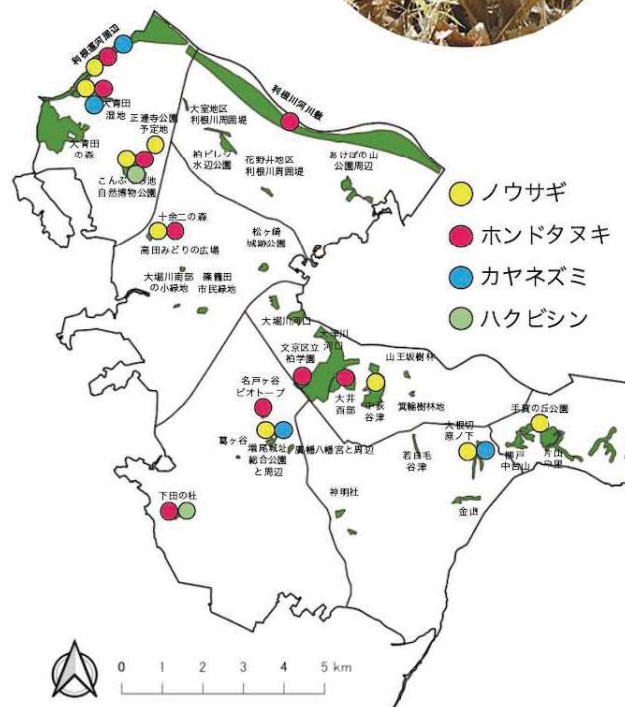
●ノウサギ

河原や広い草むらに住んでいるが、警戒心が強く見つけるのは難しいぞ。コロコロしたウンチが特徴だ。まずはウンチをさがせ！



●カヤネズミ

ススキなどの植物を編んで子育てのための巣を作る小さなネズミ。宇宙船のような巣をさがせ！でも驚かせないようにそっと観察しよう。



●ハクビシン

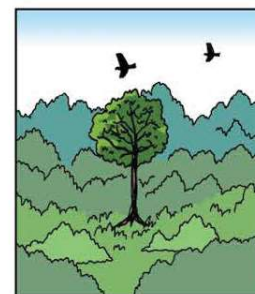


漢字で書くと白鼻芯、鼻の一本線が特徴。木登りが得意で昆虫、小動物、木ノ実や果物なんでも食べる雑食の動物だ！

●ホンドタヌキ



森や草原、町の中、意外と身近に住んでいる。ウンチを同じ場所でする”ため糞”という習性がある。散歩しながらタヌキとため糞をさがせ！



30 虫たちをさがせ！



●オオカマキリ

日本で一番大きなカマキリ。目を見ると睨み返してくるぞ。探したらカマの攻撃に気をつけながら、背中をつかんで捕まえよう！



●オニヤンマ

水辺で見られる大きなトンボ。背中模様が鬼の顔に見える。色々な虫を空中でキャッチして食べてしまうぞ！緑の目もきれいだ。

●ハグロトンボ



森の中や草の多い河原などが好きなトンボ。黒い羽を良く見ると、オスの羽はキラキラ光っているぞ！よく観察してみよう。



●アオスジアゲハ



青空のような綺麗な青い羽を持つチョウ。幼虫はクスノキが大好物。成虫は、普段は丸めている長い口で花の蜜を吸うぞ！



●ヤマトタマムシ

緑でメタリックな体をしたきれいな虫。良く見るとクリクリの目がかわいくて、体の裏側や羽の中もきらきら！

●オケラ



不思議な形をしているけど、実はバッタの仲間。穴を掘ったり泳いだりするのが得意。手のひらに置くと指の間を掘ってくるぞ！

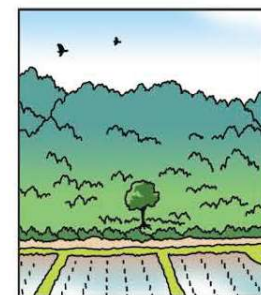
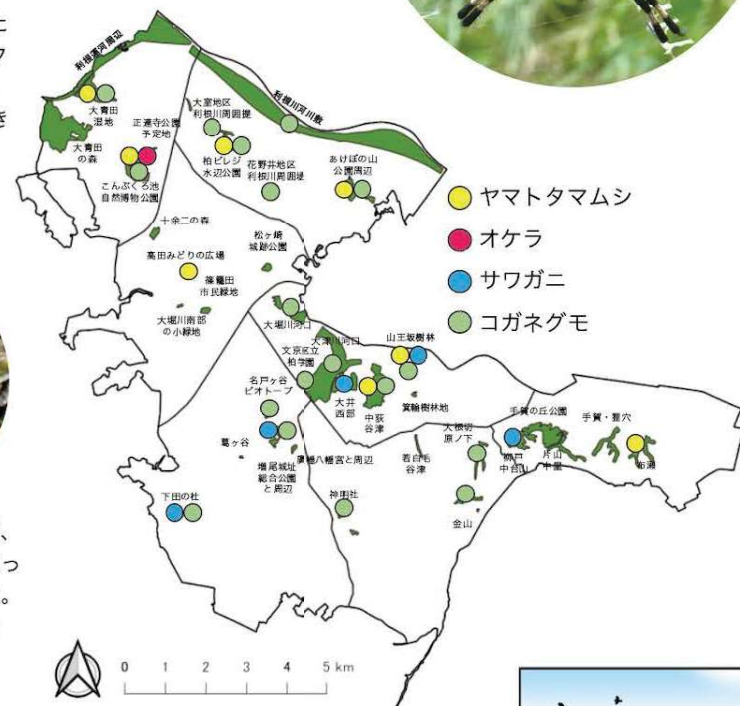


●サワガニ

一生を真水で過ごすカニ。裏返しにするとオスとメスを見分けられるので挑戦してみよう！実は日本にしかないぞ。

●コガネグモ

黄、白、黒のストライプがおしゃれなクモ。よく見るのは全てメスで、オスはすごく小さくて巣の端っこにいるぞ。探してみよう。



31 変わりゆく自然環境

柏市では様々な理由から年々少しずつ自然環境が失われてきています。右の写真は2008年から2018年までの10年間で自然が失われてしまった場所のものです。

今、私たちが当たり前のように暮らしている場所も、かつては野原や森、谷津、田んぼといった様々な生きものを育む自然豊かな場所でした。

これからも変化をし続ける『柏のしぜん』。

私たちは、今後どのように『柏のしぜん』とかかわったらよいのでしょうか？

このパンフレットで紹介した場所も『柏のしぜん』のほんの一部でしかありません。もっと自然を探したい。自分でみつけた自然を守りたい。そういう人が増えて欲しい。そうしたい思いをこのパンフレットに込めています。

探すことから始めよう『柏のしぜん』を

伝えよう『柏のしぜん』を

楽しもう『柏のしぜん』を

柏市、「さがせ！柏のしぜん」製作・協力者一同



「さがせ！柏のしぜん」

- 発行者：柏市環境部 環境政策課
- 発行日：2019年3月
- 発行元：柏市
- 監修：NPO法人 かしわ環境ステーション
- 協力：柏自然ウォッチャーズ
- イラスト：あべかよこ（マンガ家 柏市在住）
- 写真提供（五十音順）：相澤章仁、青木保雄、市川清、川瀬美幸、剣持武、小島久佳、佐々木光正、篠崎将、島田幸生、田中愛子、田中二三、中川静枝、森拓人、藤原俊和、山口由木、山村和子、山本修史、吉田峰規
- 編集・印刷：OXO Creative
- 無断転載厳禁

※クイズ等の回答は柏市のWEBサイト「かしわエコサイト」と、かしわ環境ステーションのWEBサイトに掲載しています。

